

女尊 祭壇

所在地 大田区大田
指定の 昭和三十二年
天神山古墳(4000年)の
平面図ニカクシテ
平面的ニテ扇形ニシテ
後内墳カ四角ノ部分ノ
面(上方)カ帆ノ部分
帆立貝ノ付ケラレテ
二ノ名称カ附ケラレ
内墳ニ方型ノ低造出
種古墳ノ代表トシテ
内形部ノ封土ハ径約
内形部ハ幅20メートル
長15メートル

高さ55メートル
周囲の



史蹟
觀音塚古墳

坐地に営まれた略北西面に封土の全長約三五。尺後円部の経部約二五。尺高さ五。尺前方部の幅外端部にて約三。尺高さ約六。尺あり二段に築城せられ周りには埴輪円筒筒列をなし又其石溝趾もよく旧態を保つて後円部は口を南に開いた横穴式石室が存す石室は羨道と玄室との二部に分れ羨道長さ約二六尺五寸幅奥部にて約一〇尺七寸高さ約九尺を有し内部は仕切石によつて二区に別され玄室入口にも又同様な仕切石が設けられていづれも花崗岩の剝石によつて築かれ其の構造すこし雄大である昭和二十年三月初めて開口せられ鏡鏡、大刀、馬具、銅製容器、須恵器等の優秀な遺品が検出された壯大な石室を具した前方後円墳として此の地方にある顕著な例である。

揚 示

古墳並出土品見学希望者は
左の管理者に連絡して下さい
入場料は不用です

富士松

八幡町一〇五一番地
観覧時間

自午前九時 至午後四時

住所 〒410-0101 富士松町一〇五

親音塚

昭和十年に古墳調査を行ったとき高崎の古墳は五五(界内八四三三)の多数にのほりこのうち八幡地区は五〇でその数は多いとはいえないが親音塚を中心としてその周辺に群りこの丘陵一帯が古墳文化の中心地があつた。親音塚の規模の大ききや築き方は奈良県高市郡高市町にある石舞台古墳と同じ方法が見られその出土品の中に有名な奈良の法隆寺五重の塔の心礎の下から出たものと同様なものがあつて、高く評價されているゆゑんである。特に古墳とその出土品が完全に同じところに保存されたこともまた全国に類例がなく、それ故に貴重である。親音塚についての文献はない。徳川綱吉が五代將軍(一六四一—一七〇九)にも墳まで親音塚がここに安置され護国寺の住職亮賢これの家綱に献納したことが僅かに文献に残るのみで親音塚は今国史に指定されている。

高崎市教育委員会

国の指定史蹟になつてゐる。
封土の全長百六十米・高十八米。前方後山墳で封土をめぐり埴輪山筒列もよく存し

濠跡もわが　玄室は

幅三米半・奥行七米・高二七米

正面奥壁の一枚石は雄大に

出土品の豪華さと共に

目をみはらしせる











出土遺品について

観音塚古墳の出土品は古墳文化の末期（西暦六四〇年前後）に作られたもので、全国を通じて、大きな特徴として

一、大古墳にふさわしく遺物が豊富であること。

二、特に金銅製・銀製の立派なものが多く、こと。

三、佛教文化に関連するような遺物が見られること。

四、舶載鏡（中国から伝わったもの）があること。

以上のようなものが挙げられ、その時代の文化を物語る貴重なもので、石室の造りなど、あわせて、八幡古墳群の中心と考えられる。同時に、全国的に見ても、日本有数のもの、一つであると考えられる。と、共にこの地を支配した豪族の古墳でその豪勢さがしのばれる。

高崎市教育委員会

馬具
(轡)

馬具
(鐙)



馬具 (尾錠)










国指定史跡二子山古墳

この古墳は 封土が二段に築かれ 全長91mの 前方
後円墳で 前方部の高さ9m 後円部8.6mである 両
部に石室を有し 県下では唯一な古墳である 後円部の
石室は全長8.8m 前方部の石室は 全長8mで1819年
に発見された 遺体三体 銀柄の太刀一口 勾玉4こ
いわいべ土器9こ やじり 六鈴釧 耳環等が 出土し
ている 7世紀前半ごろの墳墓といわれている

前橋市教育委員会





























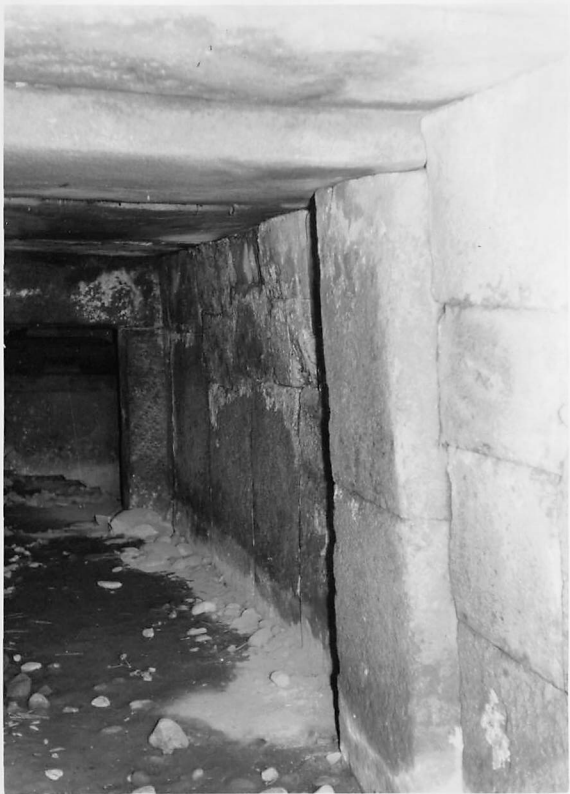












蛇穴山古墳

この古墳は往時周囲に
水湟をめぐらし御諸別王
（豊城入彦命曾孫）の御陵墓と
伝えられる
玄室の入口は
内部の石壁は技巧にも優れ
佛教文化の影響も見られ
古墳文化の末期を飾る
貴重なる文化遺産である

史跡を

